

リケンテクノス株式会社

2018年3月期 上期

(2018年3月期 第2四半期)

決算説明会

2017年11月24日

- 決 算 概 要
- 事 業 の 概 況
- 今 後 の 展 開

決算概要

| 科 目 | 2018年 3月期上期 | 2017年 3月期上期 | 前年同期比 | 増減率 | 2018年 3月期上期 業績予想 | 達成率 |
|---------------------|----------------|----------------|--------|--------|------------------------|--------|
| 売上高 | 45,890 | 43,171 | +2,718 | +6.3% | 46,000 | 99.8% |
| 売上総利益 | 8,389 | 8,669 | ▲280 | ▲3.2% | — | — |
| 営業利益 | 2,554 | 2,912 | ▲357 | ▲12.3% | 2,600 | 98.3% |
| 経常利益 | 2,634 | 2,677 | ▲42 | ▲1.6% | 2,600 | 101.3% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,202 | 1,123 | +78 | +7.0% | 1,200 | 100.2% |
| 1株当り利益 | 20.36 | 18.74 | 1.62 | +8.6% | 20.68 | 98.5% |

※ 過去最高

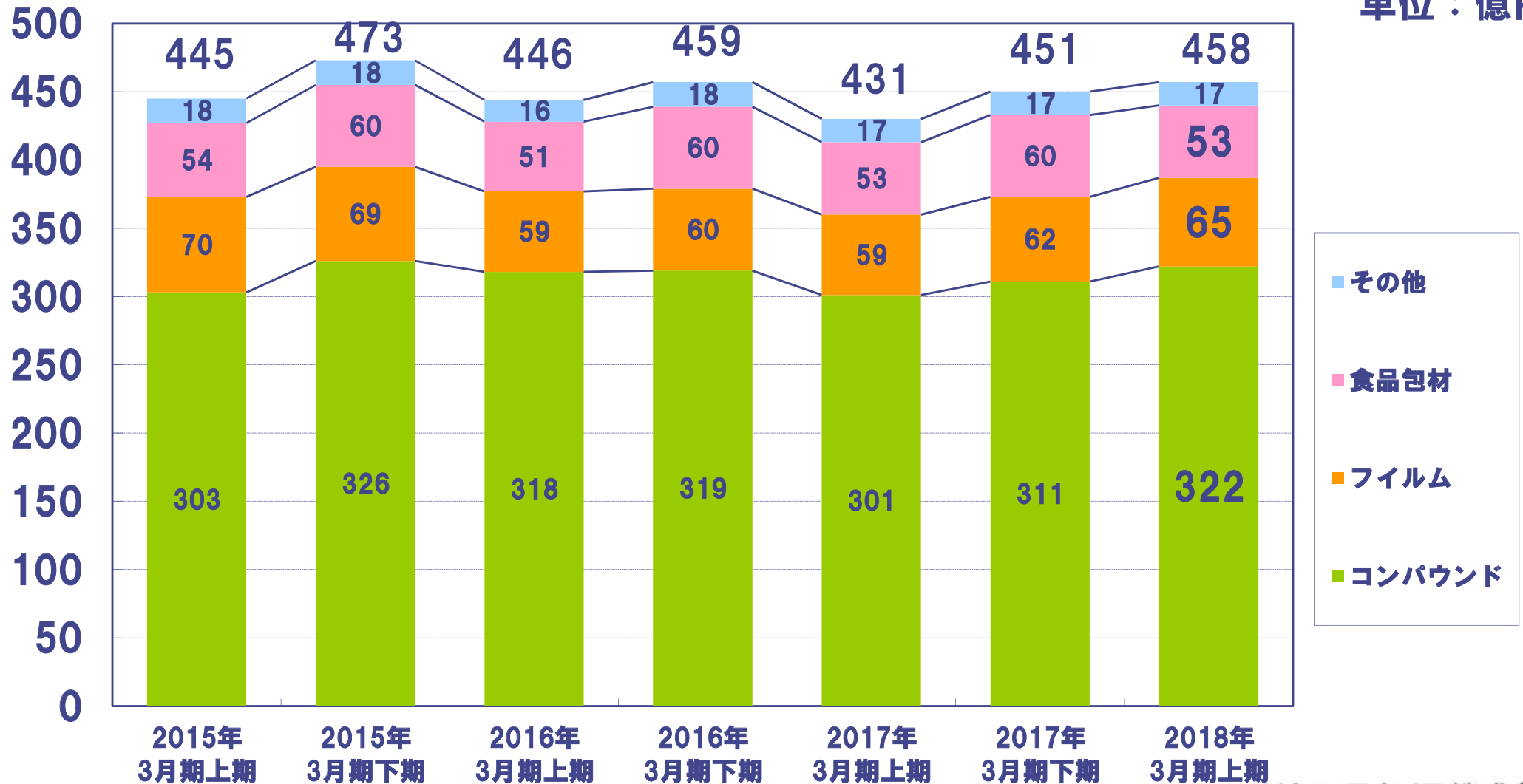
セグメント別売上高推移



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

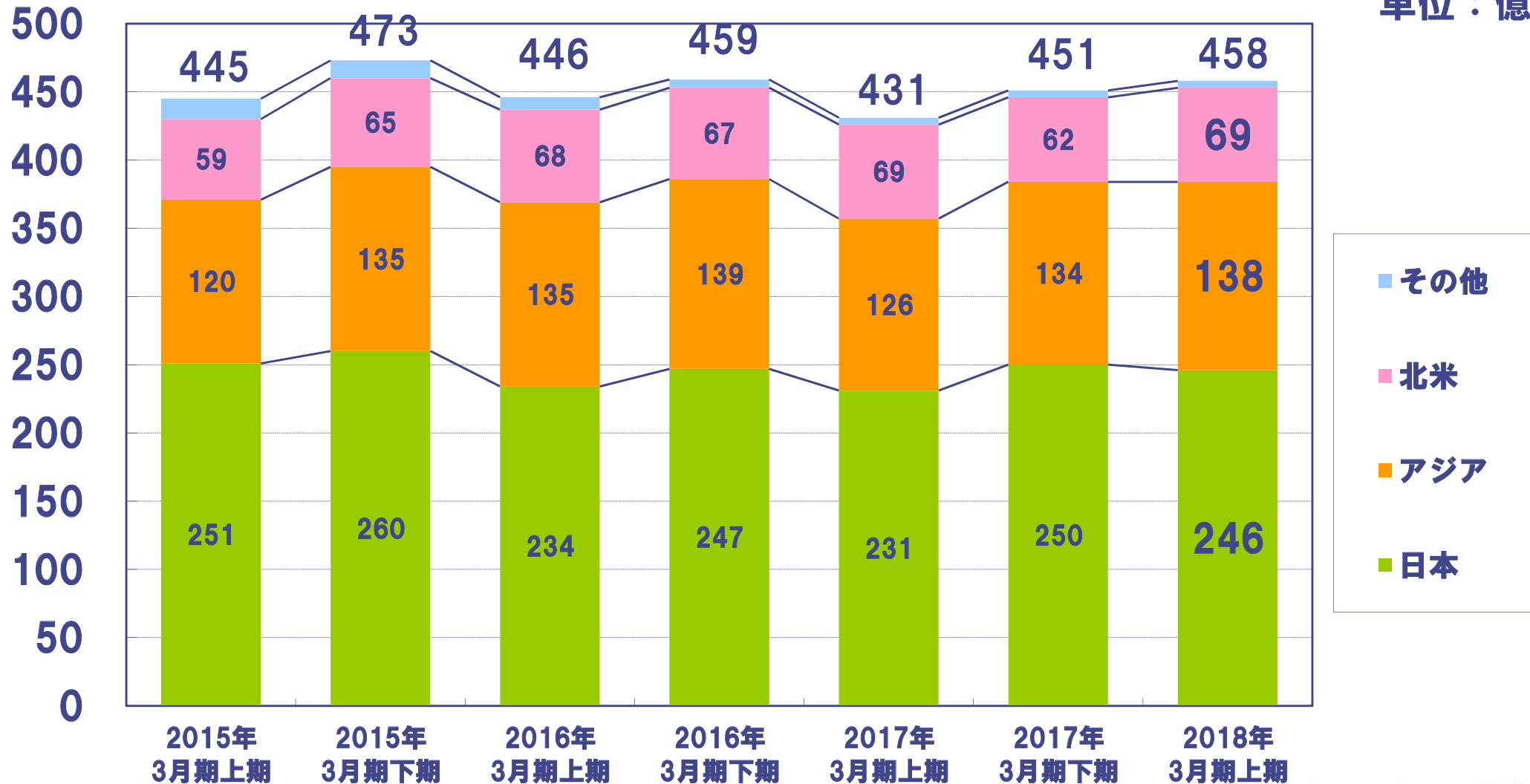
2018年3月期上期 売上高 458億円
前年同期比 2,718百万円増 (6.3%増)

単位：億円

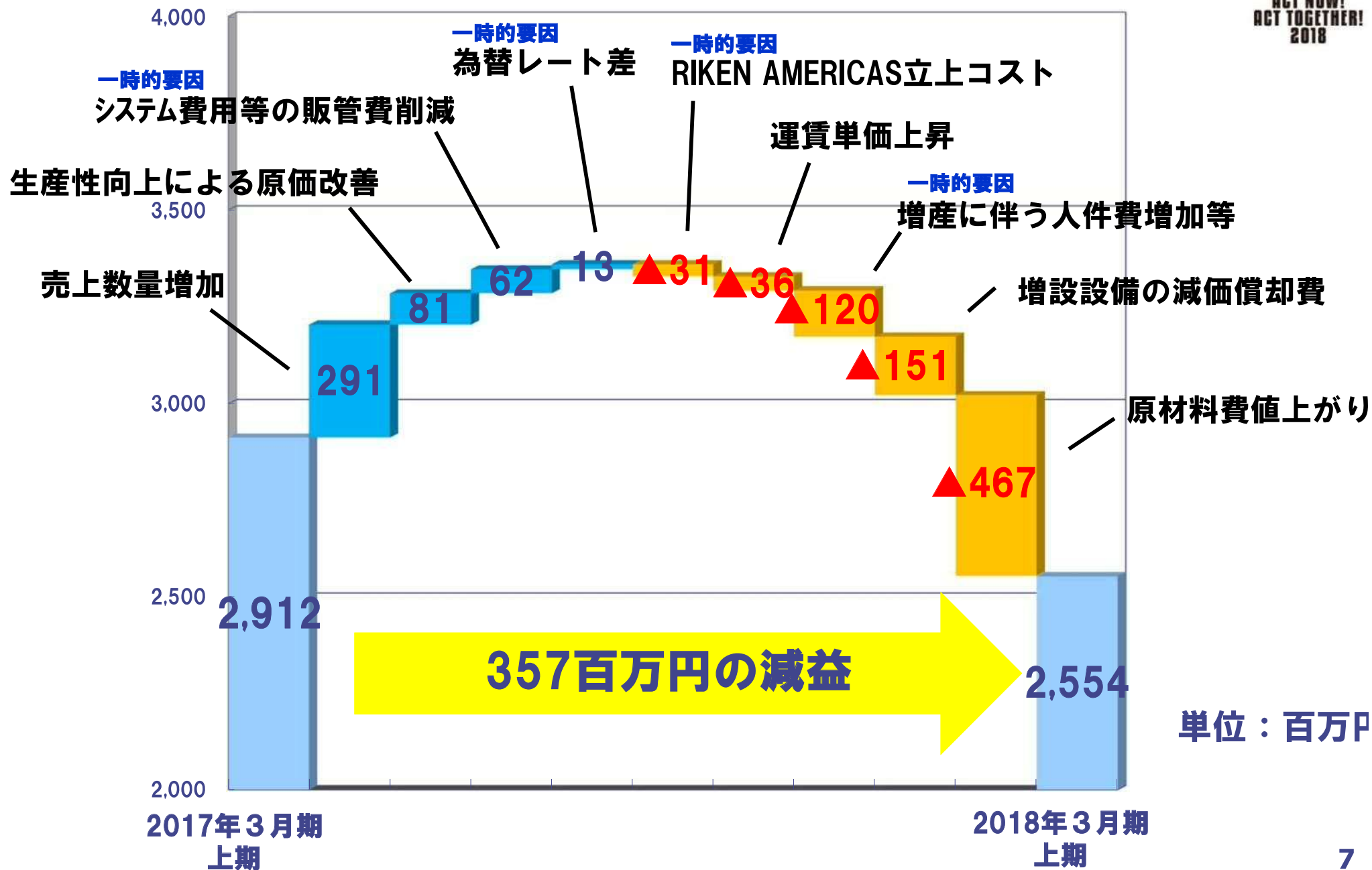


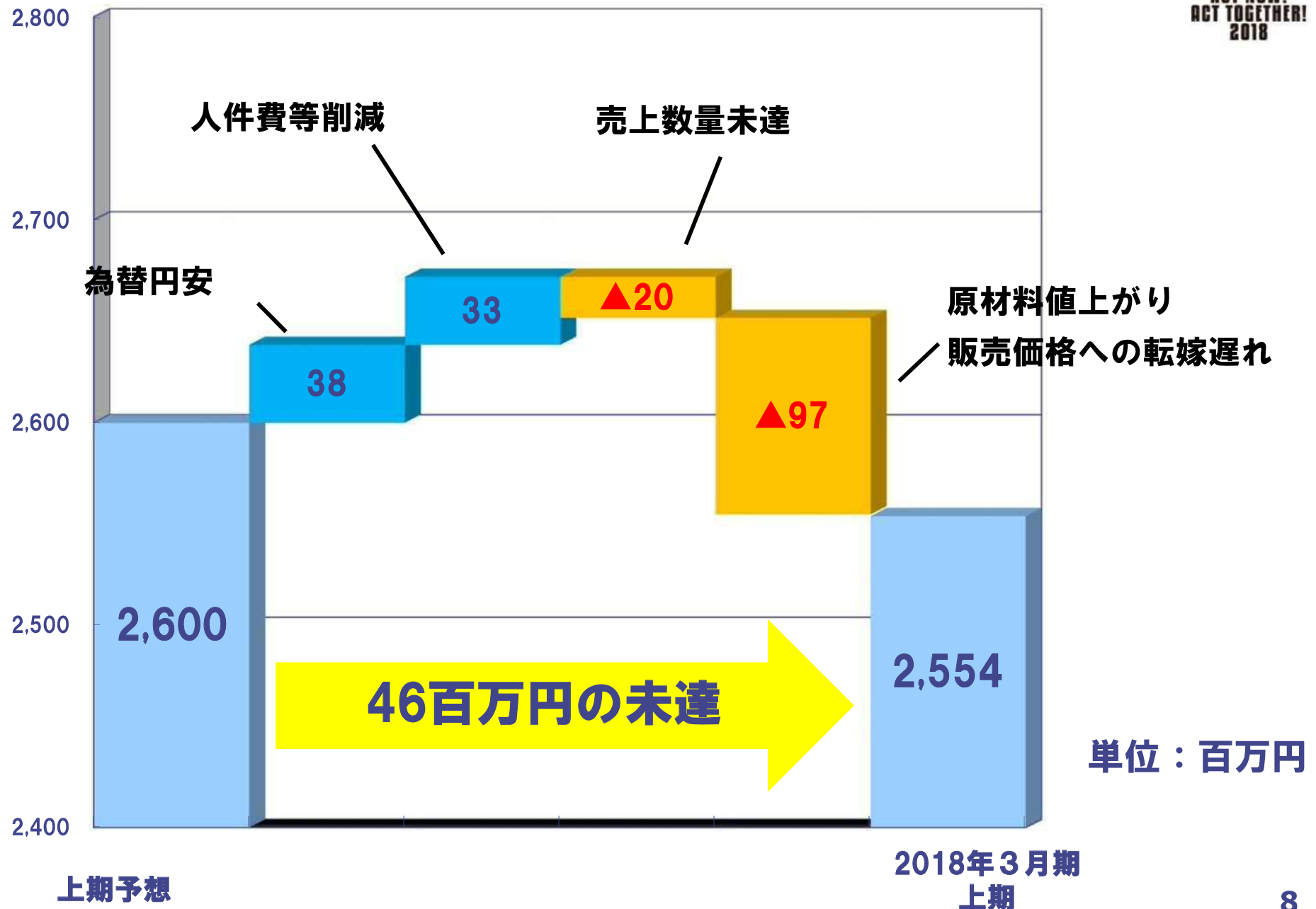
2018年3月期上期 売上高 458億円
前年同期比 2,718百万円増 (6.3%増)

単位：億円



営業利益の前年同期比 増減要因分析





連結貸借対照表

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

資産合計

89,165百万円

前期末比 819百万円増

流動資産 51,665百万円

固定資産 37,500百万円

負債合計

37,127 百万円

前期末比 2,022百万円減

純資産合計

52,038 百万円

前期末比 2,842百万円増

| | 当期 | 前年 同期比 |
|--|----|-----------|
|--|----|-----------|

| | | |
|-------|-------|------|
| 営業C F | 2,607 | ▲537 |
|-------|-------|------|

| | | |
|-------|--------|------|
| 投資C F | ▲1,495 | +804 |
|-------|--------|------|

| | | |
|-------|--------|--------|
| 財務C F | ▲1,198 | ▲2,114 |
|-------|--------|--------|

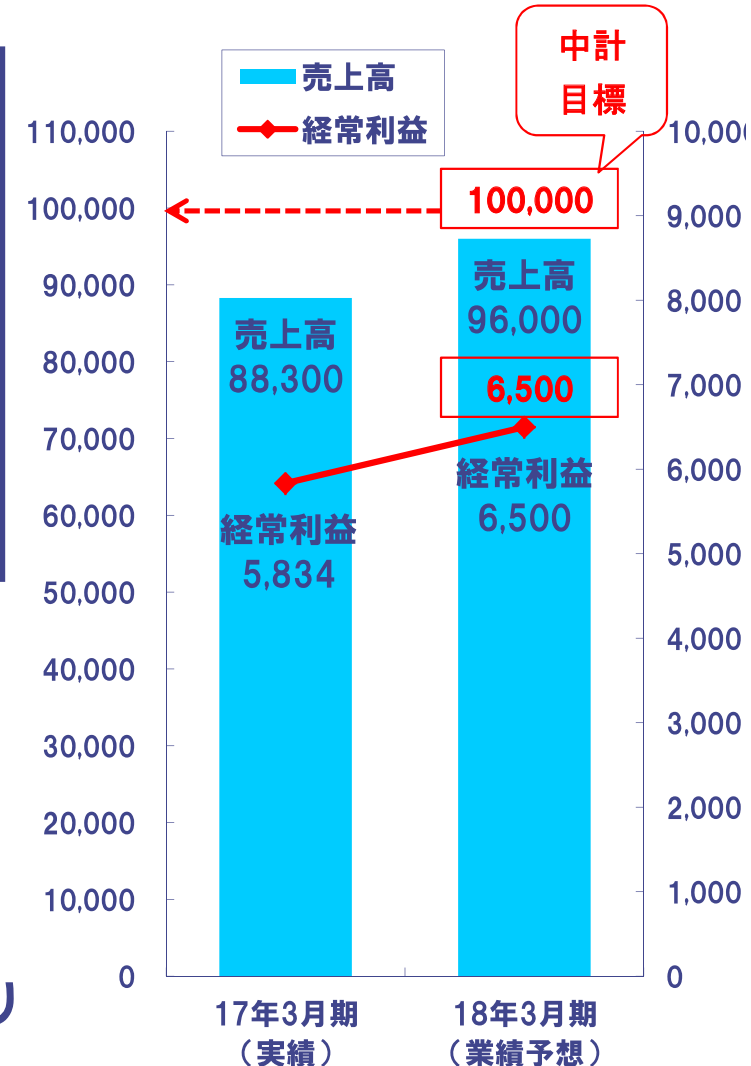
| | | |
|-----|------|--------|
| 増減額 | ▲170 | ▲1,105 |
|-----|------|--------|

| | | |
|------|--------|------|
| 期末残高 | 14,199 | ▲179 |
|------|--------|------|



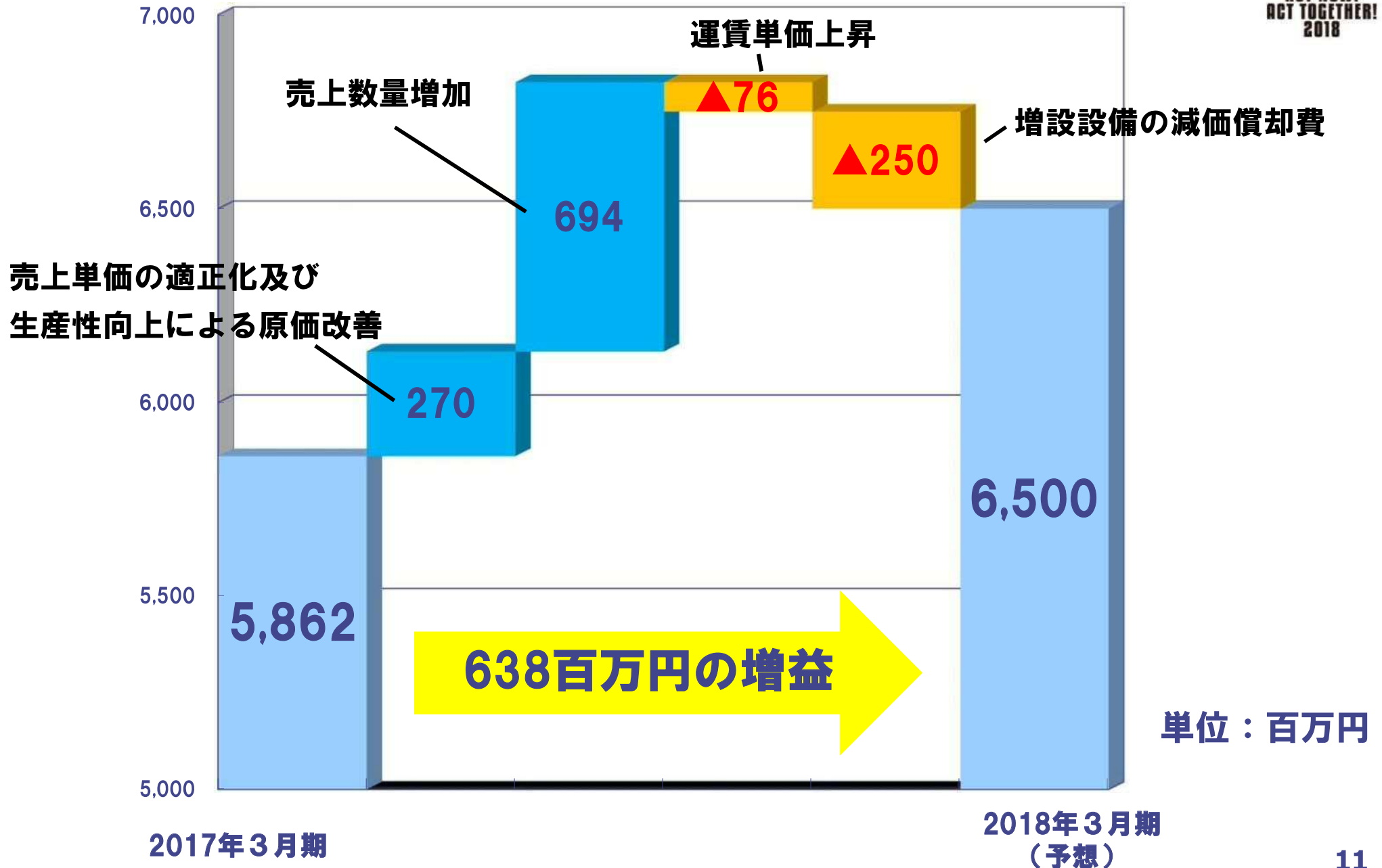
| 科目 | 2017年3月期 実績 | 2018年3月期 業績予想 | 伸び率 |
|---------------------|----------------|------------------|--------|
| 売上高 | 88,300 | 96,000 | +8.7% |
| 営業利益 | 5,862 | 6,500 | +10.9% |
| 経常利益 | 5,834 | 6,500 | +11.4% |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 2,716 | 3,000 | +10.4% |
| 1株当たり利益 | 45.85 | 51.69 | +12.7% |

(単位：百万円、円)



【業績予想のポイント】

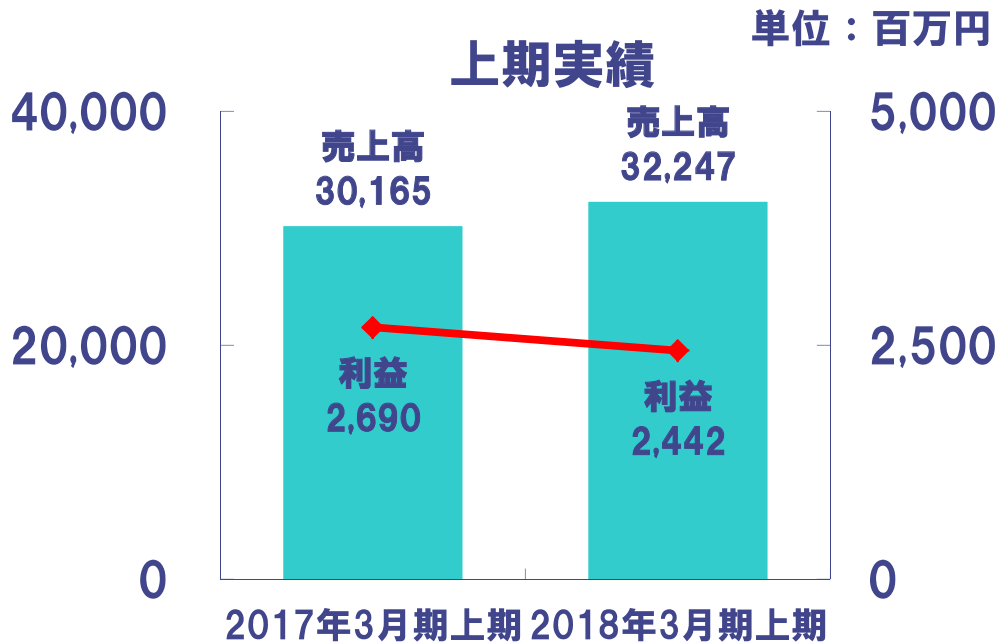
- 国内は、電線・建材市場での新規拡販、オリンピック関連需要及び自動車市場の需要増を取込み増収
- 海外は、アジアを中心とした自動車及び医療市場での拡販により増収
- 減価償却費の負担増あるが、製品価格の適正化と数量増により増益を見込む



事業の概況



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018



2018年3月期 上期

| | |
|--------------------|------------------|
| 2,082 百万円増収 | 247 百万円減益 |
| 前年同期比6.9%増 | 前年同期比9.2%減 |

- 国内は住宅向け建材、電線、自動車市場で総じて好調に推移し増収
- 海外はASEAN、中国、北米市場で増収
- 製品価格調整の遅れにより減益

2018年3月期 業績予想

| | |
|--------------------|------------------|
| 5,715 百万円増収 | 482 百万円増益 |
| 前期比9.3%増 | 前期比9.3%増 |

- 国内は建材、電線市場での新規拡販及びオリンピック関連需要の取込み、また好調な自動車市場の需要を取込み増収
- 海外はASEANの日系を中心とした自動車、医療市場での拡販により増収
- 製品価格の適正化と数量増による増益を見込む



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

2018年3月期 上期

606百万円増収

2百万円赤字幅削減

前年同期比10.2%増

- 国内は建装材、広告メディア、自動車市場の需要を取込み増収
- 光学分野では、大型案件の量産化が遅れ本格的な売上拡大に至らず
- 全体では増収も光学分野の開発費用負担継続し黒字化に至らず

2018年3月期 業績予想

1,295百万円増収

254百万円の改善

前期比10.6%増

フィルム事業赤字解消

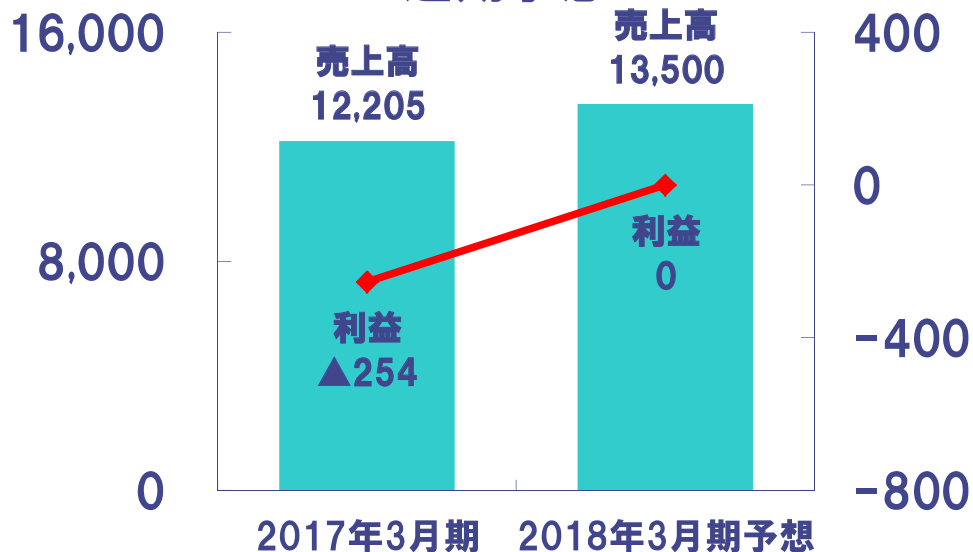
- 国内建装材市場での需要増と、広告メディア市場での拡販案件獲得による増収を見込む
- 光学分野にて、開発継続による大型案件獲得を目指す
- 全体として赤字解消を見込む

単位：百万円

上期実績



通期予想

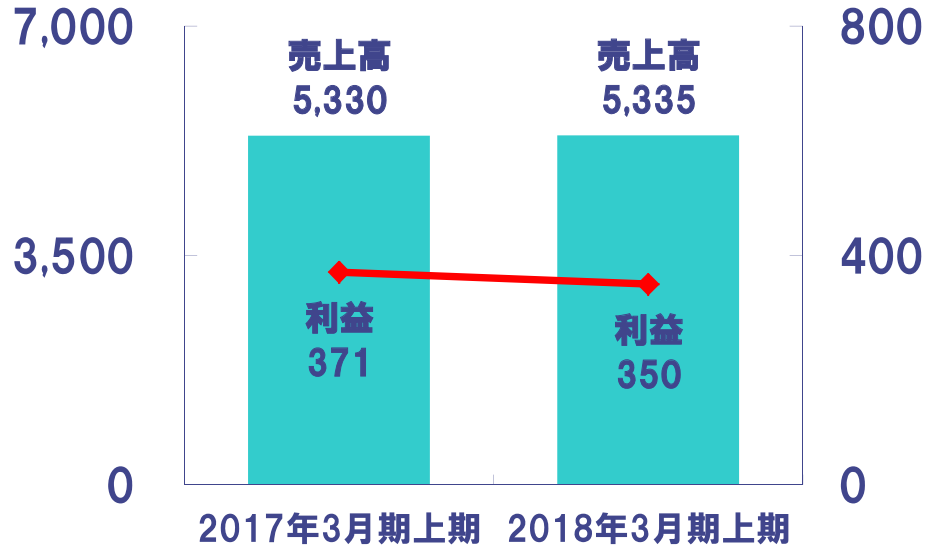




ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

上期実績

単位：百万円
800



2018年3月期 上期

5百万円増収

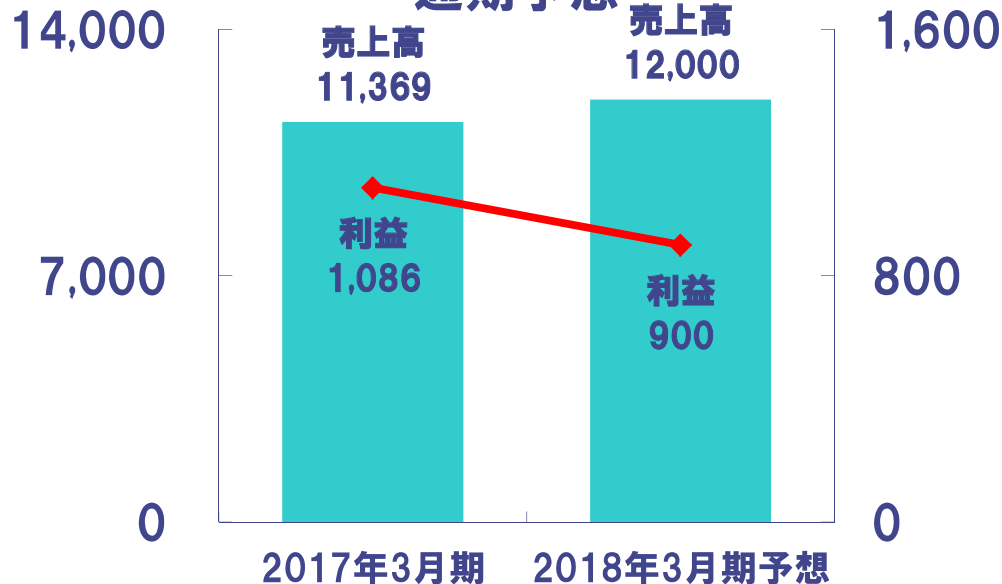
21百万円減益

前年同期比0.1%増

前年同期比5.8%減

- 外食産業向け小巻ラップが増収
- 食品スーパー向け業務用ラップが減収
- 全体では売上横ばい
- 物流費用等費用増により減益

通期予想



2018年3月期 業績予想

631百万円増収

186百万円減益

前期比5.5%増

前期比17.1%減

- 塩ビ化推進活動継続で販路拡大し需要を取込み増収
- 物流費用及び販売管理費を抑制

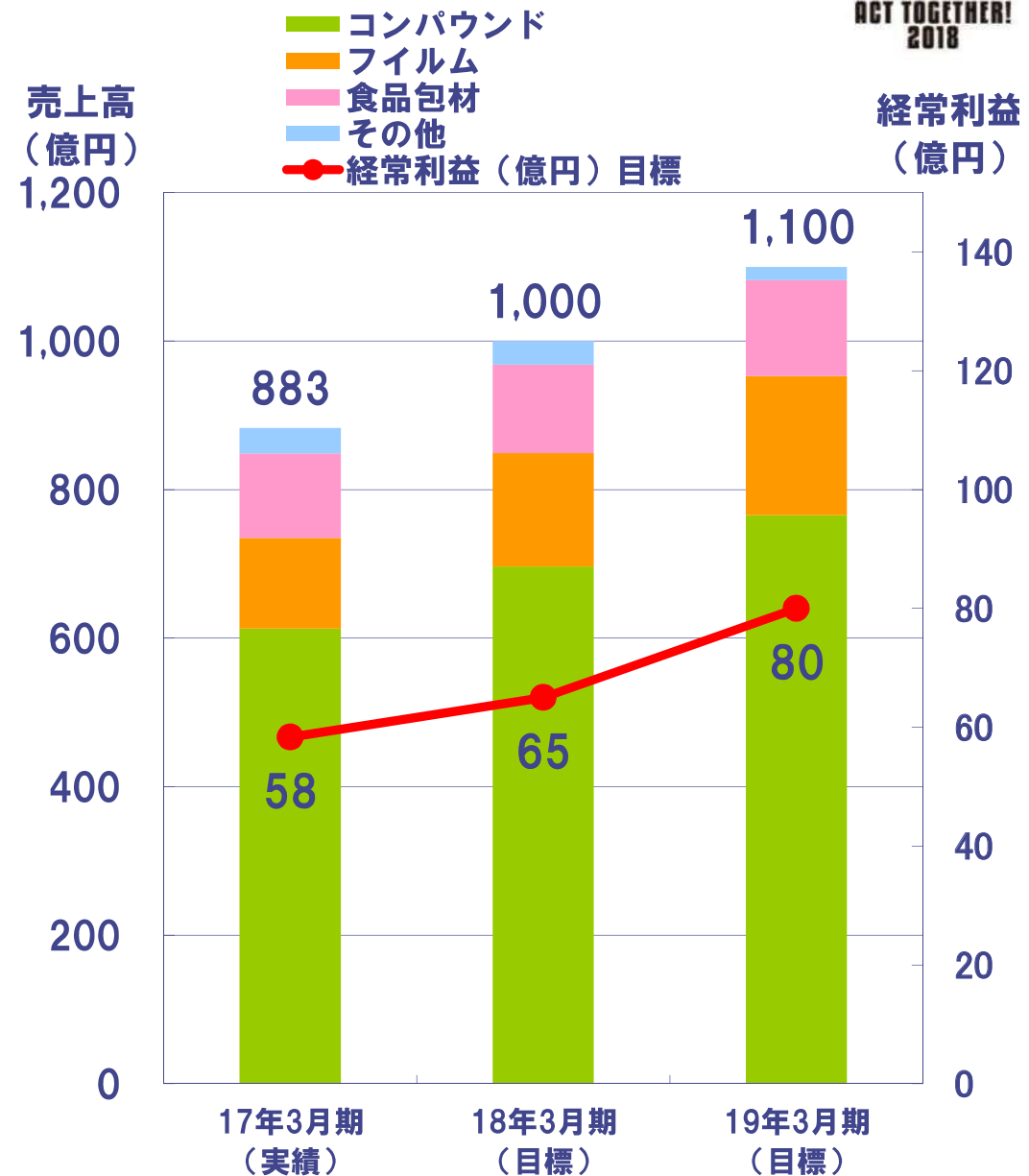
今後の展開

3カ年中期経営計画



ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

| 連結 ベース | 2017年 3月期 (実績) | 2019年 3月期 (計画最終年度) |
|-----------|----------------------|--------------------------|
| 売上高 | 883億円 | 1,100億円 |
| 営業利益 | 58億円 | 80億円 |
| 経常利益 | 58億円 | 80億円 |
| 当期純利益 | 27億円 | 45億円 |





ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

2017年3月期

2018年3月期

2019年3月期

アジア

ベトナム 塩ビ
新設工場
稼働開始

中国 塩ビ
増設ライン
稼働開始

インドネシア
生産性改善
設備導入

アジア
自動車・医療
市場調査

中国 華南地区
事務所設立

中国華南地区
市場調査

タイ エラストマーライン 増設

タイ 塩ビライン 増設

インドネシア塩ビライン 増設

アジア フィルム市場調査

フィルム海外生産拡大

北米 建材フィルム普及グレード拡販

北米

米国 塩ビ新設
ライン稼働
開始

北米統括会社
設立

自動車・建材・
未開拓市場調査

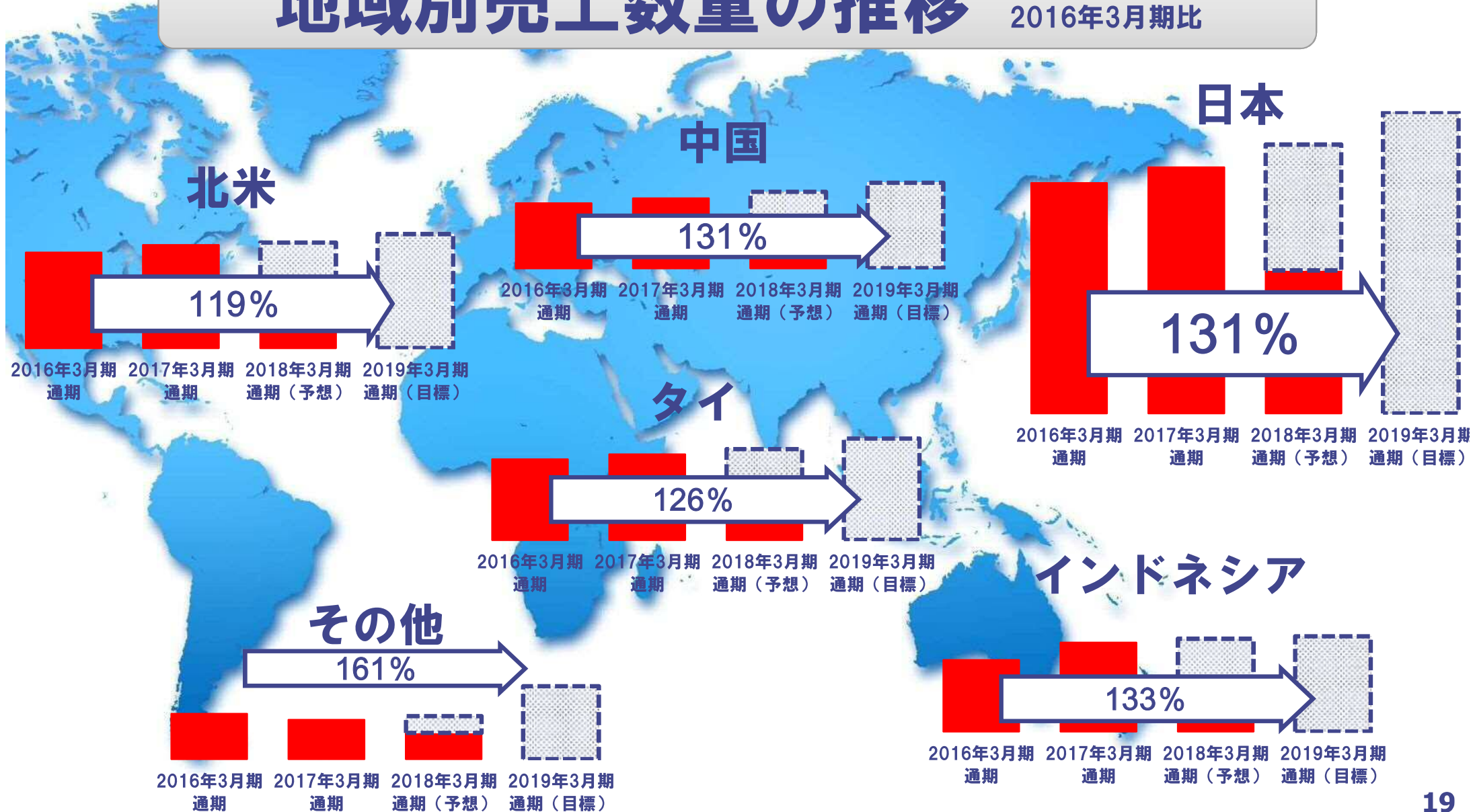
米国
エラストマー
& 塩ビライン
増設検討

海外
売上高
比率

55%
以上

海外売上高
比率(実績)
46.7%

地域別売上数量の推移 2016年3月期比

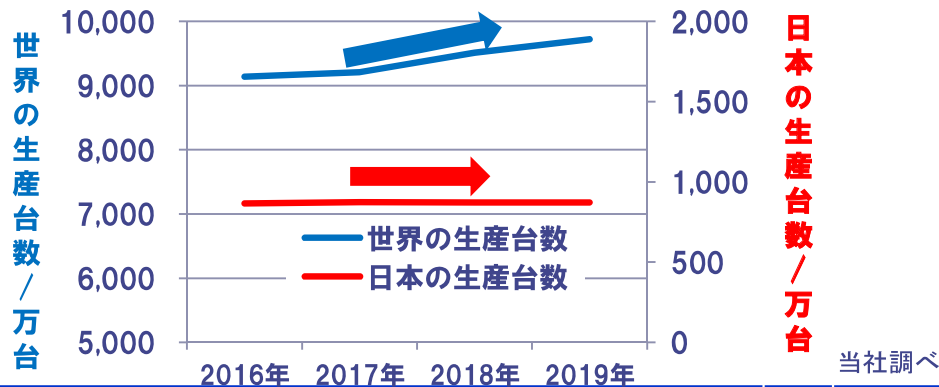


事業戦略

アジア・北米市場における 圧倒的な存在感の確立

- ◆ 日系W/Hメーカーの新規案件獲得⇒薄肉タイプ採用拡大
- ◆ 内外装・シール材アジア・北米にて採用拡大⇒
ヘルトモール・グラスランチャネルの採用拡大
- ◆ 新製品（機能部品、EV充電ケーブル）開発⇒
モーターシール・ブーツ・ダクト材・充電ケーブル
- ◆ 非日系顧客向けビジネス開拓⇒
中国・米国での非日系顧客への展開

市場動向(予測)

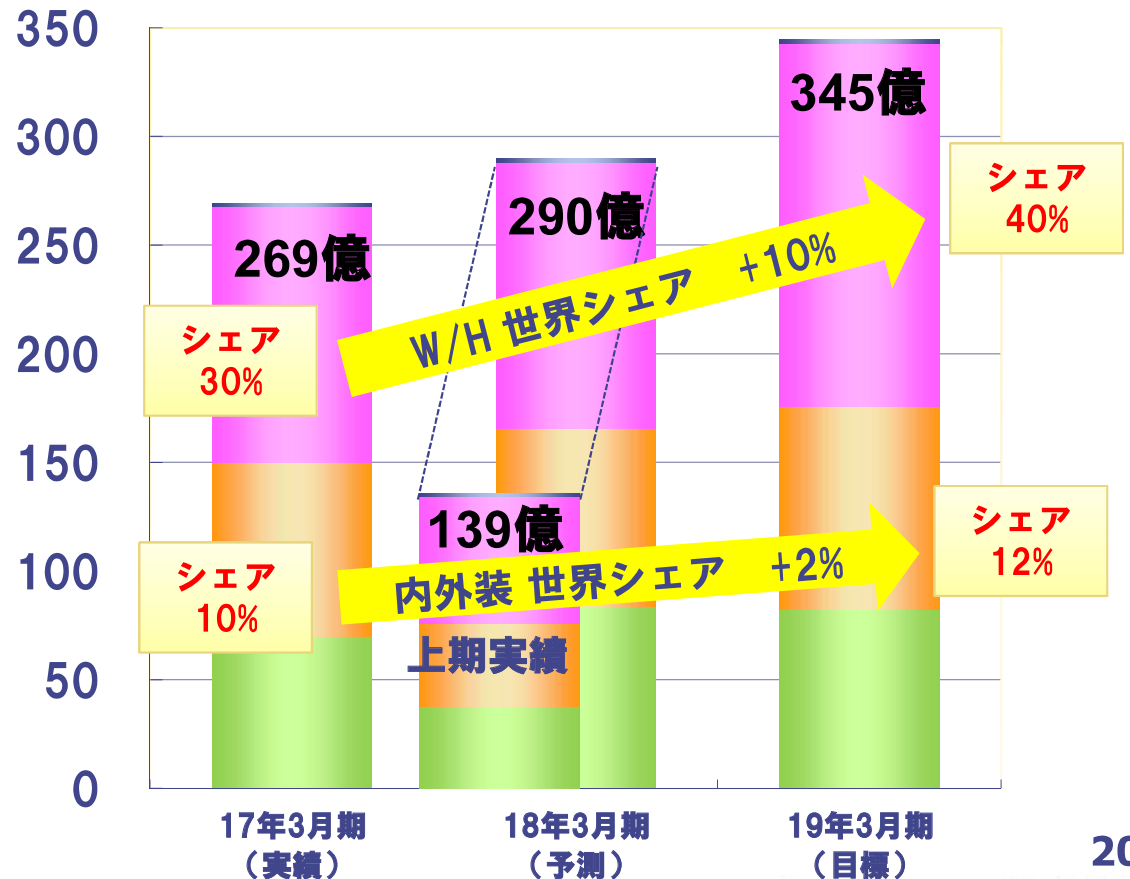


売上高目標

2019年3月期：+76億（目標） 28% UP (2017年3月期比)

売上高（億円）

- 内外装部材（国内）
- 内外装部材（海外）
- W/H
- フィルム





ACT NOW!
ACT TOGETHER!
2018

ASEAN・インド戦略

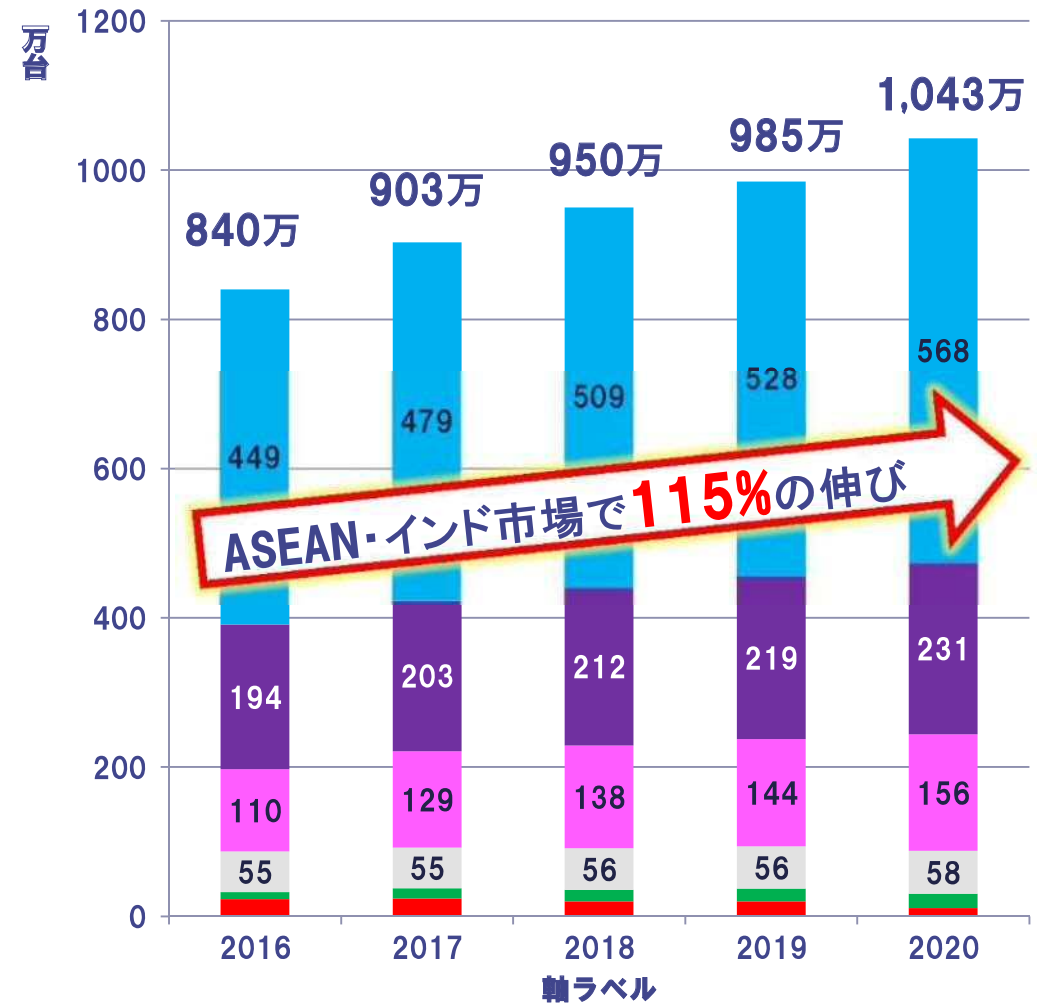
成長著しい市場に積極的に展開

- ◆ 当社シェアが高いタイ・インドネシアを中心としたASEANと市場の伸び率が高いインドでの拡販
- ◆ タイ、インドネシア、ベトナムの生産拠点網を活用し、同一品質の製品を供給

売上高目標 (百万円)

| | 18年3月期 (予測) | 20年3月期 (目標) |
|-----------------|----------------|----------------|
| PVC (内外装, 二輪部材) | 1,600 | 2,000 |
| TPE (外装シール部材) | 1,450 | 2,000 |

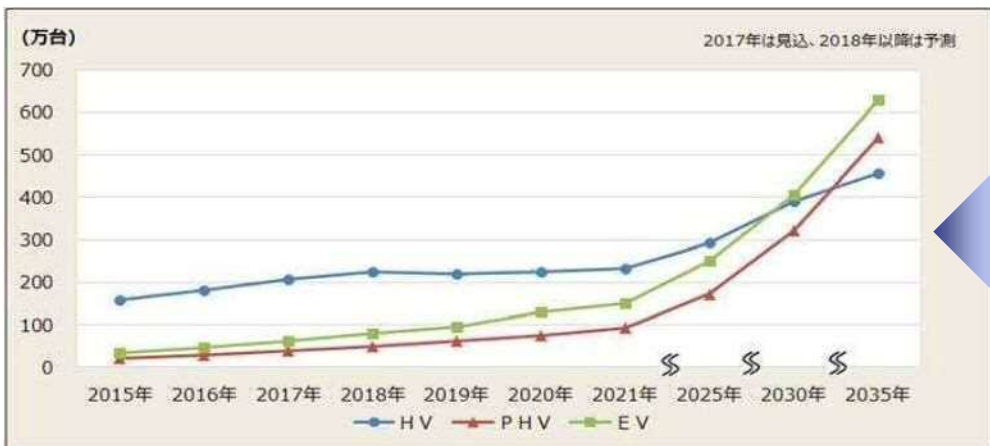
拡大する自動車生産台数



■ ベトナム ■ フィリピン ■ マレーシア ■ インドネシア ■ タイ ■ インド

*マークライン予測データより

電気自動車生産拡大に拍車をかける各国の規制強化



欧州CO²規制強化 スタート済み

中国NEV規制導入 2018年より

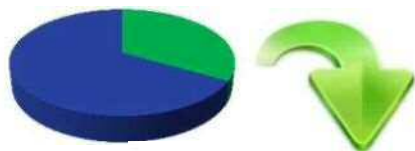
米国ZEV規制強化 2018年より

EV高耐熱ケーブル世界市場

2017年:市場規模 5億円

2019年:市場規模 30億円

■当社
■他社



高耐熱ケーブル材

2020年3月期
売上高目標 **10億円**

- ◆ 他社架橋PEから当社TPEへの切換え
→架橋処理不要となりケーブル製造時の工数削減
- ◆ ケーブルの細線化、軽量化にも対応

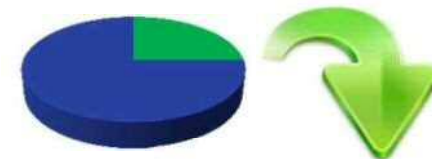
業界初!

充電ケーブル世界市場

2017年:市場規模 5億円

2019年:市場規模 40億円

■当社
■他社



充電ケーブル材

2020年3月期
売上高目標 **10億円**

- 他社PVC、ゴムから当社TPEへの切替え
→耐寒、耐熱に優れ、軽量化も実現
- 日本・米国・欧州・中国規格に対応

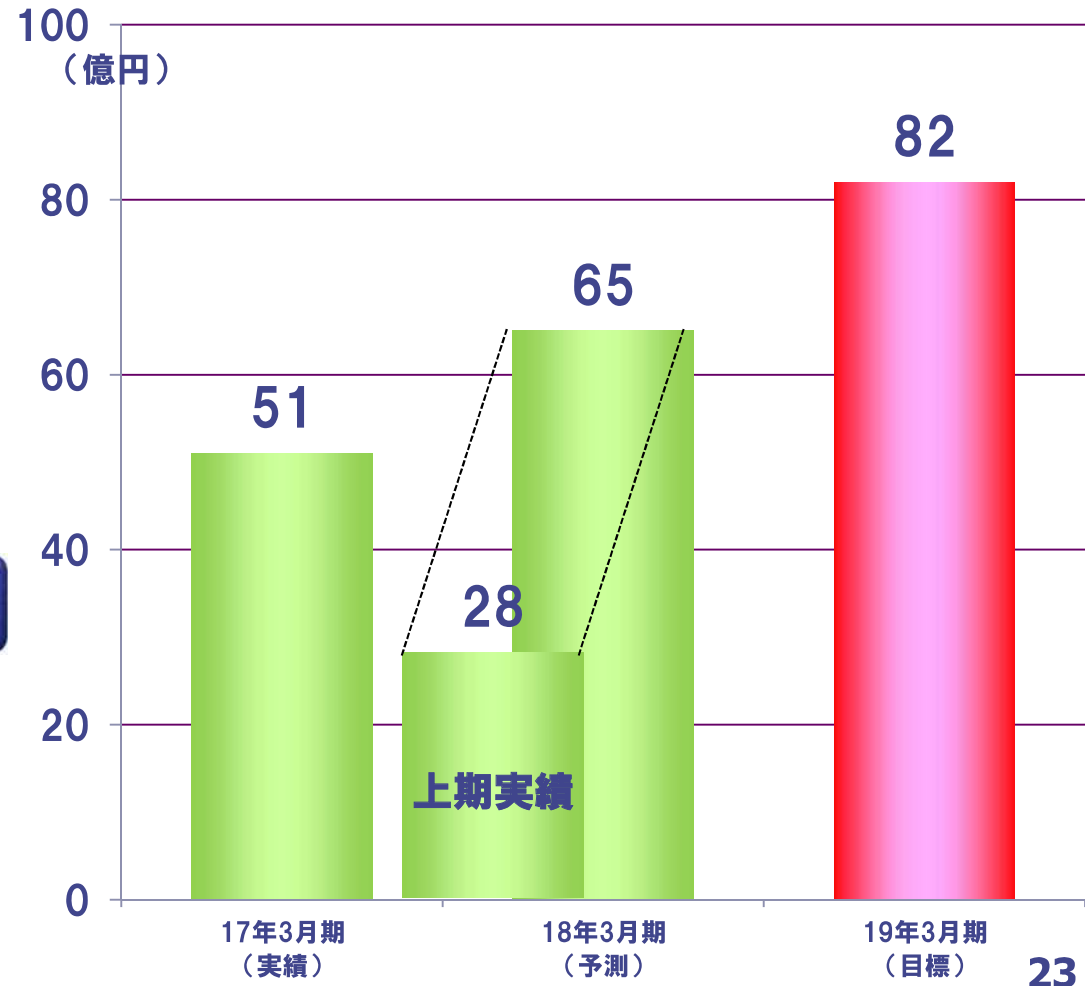
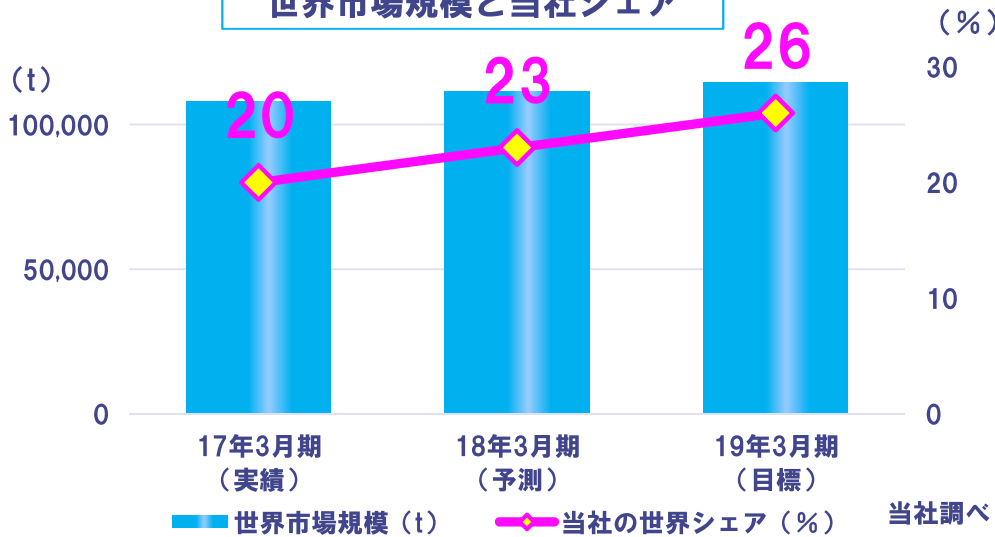
事業戦略

医療用売上高目標

医療分野グローバルシェアアップ

2019年3月期：+31億（目標） 61% UP（2017年3月期比）

血液回路用 塩ビコンパウンド
世界市場規模と当社シェア



新市場参入計画

医療用フィルム市場参入

⇒ 2019年3月期承認⇒2021年3月期販売開始

非日系（欧州・中国）メーカーへの参入

⇒ 市場の継続調査

医療用栓体製品の新規採用による販売増加

⇒ 材料承認済、2021年3月期販売開始



リケガード F 抗菌対応

- 付着した**細菌**からガード
(SIAAマーク※取得)
- 手すり・グリップ・ウインドーフィルム 等

リケガード V 抗ウイルス対応

- 浮遊する**ウイルス**からガード
- 手すり・壁装・作業衣 等

リケガード P 防虫対応

- 感染症を媒介する**害虫**からガード
- カーペット・壁装・ベビー用品 等

※SIAAマーク：抗菌製品技術協議会認定

コンパウンド、フィルム商品へ展開

事業戦略

- REPTY®DC100の実績横展開
- REPTY®DC100の車両・産業用途展開

タッチパネルの市場規模

2017年度予測

| 用途 | ガラス面積 | 比率 | ガラス売上 |
|-------------|----------|-------|---------|
| smart phone | 17,046千㎡ | 56.9% | 709億円 |
| tablet | 6,586千㎡ | 22.0% | 271億円 |
| note PC | 1,630千㎡ | 5.4% | 61億円 |
| 車載 | 772千㎡ | 2.6% | 42億円 |
| モニター | 1,094千㎡ | 3.6% | 46億円 |
| その他 | 2,706千㎡ | 9.0% | 146億円 |
| 計 | 29,969千㎡ | 100% | 1,275億円 |

※出典：富士キメラ総研

商品採用例・実績

モバイル関連実績

Smart phone・tablet

国内外大手モバイルメーカー



産業用途実績

医療用モニタ市場

国内大手ディスプレイメーカー

市場トレンドの変化

◆モバイル

- スマホデザインの2.5D・3D化
- 5G移行によるリアカバーの金属→ガラス・樹脂化

◆自動車

- カーナビやインパネなどの曲面化・一体化
- HUDの普及による光学材料の需要拡大

ターゲット製品例

◆3Dスマホ



◆曲面カーナビ



◆HUD



グローバル戦略

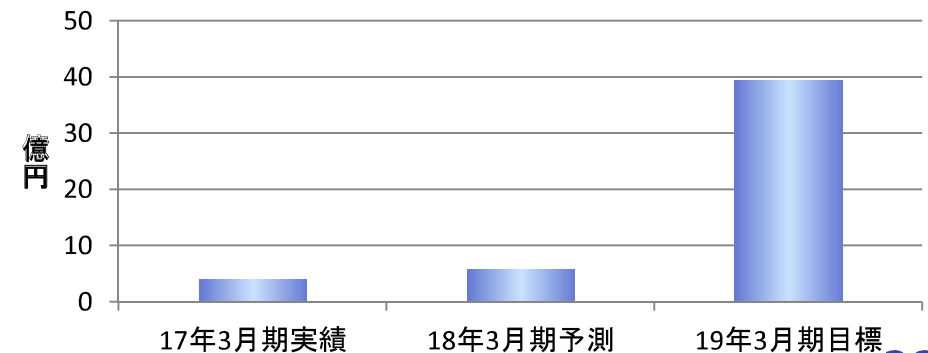
【デザイン 3D加工】 + 【高機能・高透明】



- 国内外の実績アイテムの横展開、大口案件の獲得
- モバイル: 中国メーカーハイエンドモデルへの展開
- 自動車: 欧州メーカーへのスペックイン活動

売上高実績・目標

売上高



事業戦略

「塩ビ化の推進」 非塩ビ市場に対し塩ビの安全性・優れた包装適性を訴求

販路拡大

従来の業務用ラップに加え、業務用**小巻ラップ**の拡販活動強化

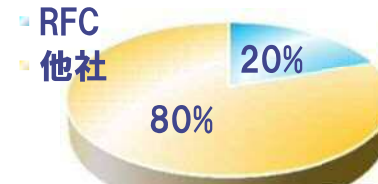
業務用市場

顧客へ「塩ビラップ」に対する適切な情報を提供



業務用小巻ラップの拡販強化

外食産業やホテルへ塩ビ小巻ラップの使いやすさの訴求
調理関連資材の品揃えを充実させユーザーへの提案力強化



25%へ
(2020年3月期)



グローバルで勝ち続けるための高い競争力の構築

世界同一高品質・安定供給の実現

スマート
ファクトリー化へ

スリーゼロの達成継続、収益
向上

DATA解析による、生産体制、作業効率化

2019年3月期

プロセス変革

2018年3月期

分析・解析

社内コラボレー
ションによる連携

2017年3月期

DATA収集・
蓄積



3年間での設備投資合計：160億円（国内：73億円、海外：87億円）

単位：億円 ※メンテナンスを含む。

| 年度 | 主な設備投資 | 総額 | 減価償却費 | 研究開発費 |
|------------------|--|----|-------|-------|
| 2017年3月期 (実績) | 中国塩ビ増設 米国塩ビ増設 ベトナム塩ビ新設 | 44 | 32 | 13 |
| 2018年3月期 (計画) | フィルム設備導入 インドネシア塩ビ増設 タイエラストマー増設 | 47 | 32 | 13 |
| 2019年3月期 (計画) | タイ塩ビ増設、インドネシア塩ビ増設、 タイエラストマー増設 食品包材設備導入 | 69 | 35 | 14 |

連結配当性向30%程度を一つの目途

安定配当

(円)

| | 中間 | 期末 | 通期 | 年間配当性向 (連結) | 純資産配当率 (%) |
|------------------|------|------|-------|----------------|---------------|
| 2015年3月期 | 4.00 | 5.00 | 9.00 | 28.4 | 1.4 |
| 2016年3月期 | 5.00 | 5.00 | 10.00 | 24.1 | 1.5 |
| 2017年3月期 | 5.00 | 6.00 | 11.00 | 24.0 | 1.6 |
| 2018年3月期 (予想) | 6.00 | 6.00 | 12.00 | 24.6 | - |

配当方針：連結配当性向30%程度を一つの目途とした上で、今後の事業投資・自己資本の充実等も勘案し、安定的な配当を行う

※2018年3月期（予想）における配当性向は、転換社債型新株予約権付社債が2018年3月末までに全て株式転換されたとの仮定に基づき、予想しております。

※転換社債型新株予約権付社債については、当上期より転換請求が発生しており、2017年9月末までに1,720百万円(366万株)の株式転換を実施(自己株式を充当)し、未転換残高は、2,280百万円(486万株)であります。

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

お問い合わせ先

webmaster@rikentechnos.co.jp

経理部 高見